

# 2017 SGH通信

【2年生配布用】

No.13 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

## 聴き手の共感を得るプレゼンの極意の習得を目指して、 「プレゼンテーション講演会」を実施します！

- 目的 「SGH 課題研究」において探究してきた研究成果を、聴き手に分かりやすく印象に残るものとして伝達するため、プレゼンテーションの技術を身に付けることを目的とする。

### ■ 実施概要

- 1 日時 平成29年11月1日（水）  
3時間目 10:45 ~ 11:35 【1,3,4,5組】  
4時間目 11:45 ~ 12:35 【2,6,7,8組】
- 2 場所 大垣北高校ゼミナール室
- 3 講師 京都造形芸術大学 吉田大作 先生

#### 【講師紹介】

日本最大の芸術大学で事務局長を務めながら、1年間に100本以上の講演依頼を受け、毎年国内外2万人の高校生を中心に講演を行う。  
大学では、全13学科23コースの学生を対象とした『キャリアデザイン』の授業を担当。

「日本で最も高校生に直接講演をしている一人」と数えられる。

#### 【主な講演テーマ】

- 「進路を検討する前に考えておくべきこと」
- 「プレゼンテーションの鬼」
- 「コミュニケーション力向上ワークショップ」
- 「問題解決力向上ワークショップ」

その他、教員向けの研修、保護者向けの講演、企業や自治体での企画・広報・プレゼン研修なども多数行っている。



【箕面東高校でのご講演風景】

講師写真：<https://www.osaka-c.ed.jp/blog/minoohigashi/main/2015/07/06-069521.php>より

- 4 演題 「聴き手の共感を得るプレゼンテーション」
- 5 持ち物 筆記用具・SGHファイル・プレゼンフォーマット（A4・1枚）  
「SGH通信 No13（本紙）」

### ■ 講演後のPPT作成時間（PC室割り当て）

11/1	4時間目	3・5組	5時間目	1・4組	6時間目	7・8組
11/2	1時間目	2・6組				

平成26年度文部科学省指定スーパーグローバルハイスクール（5年間指定）

【 プレゼン ルーブリック評価 】

段階	大項目	小項目	不十分な状態(1)	やや不十分な状態(2) (自分の中で理解できている)	やや満足のいく状態(3) (分かりやすく伝える意図がある)	満足いく状態(4) (聴衆の理解を強く意図している。)
プレゼンテーション（日本語）	内容の論理性	課題の設定、RQの主張と根拠、RQの関連性 ×2	それぞれのRQに対して主張のみで根拠がない。	RQ1つ1つの主張に対する根拠を説明している。		各RQに関連性があり、論理的に説明できている
		専門用語の定義と対象を理解して伝えているか。×2 (識字率・都市と農村など)	RQに使われている専門用語の定義を説明していない。	RQに使われている専門用語を説明しているが、地域や状況が漠然としている。	専門用語の定義や設定を分かりやすく説明し、研究のキーワードとしている。	
	スライドの活用	スライドの分かりやすさ	文字が多くて、読みづらい。	文字の量が適量である。	文字の量が適量かつ情報を分かりやすく提示できている。	
		データの活用	データを提示していない。	データを提示しているが、どういったデータか説明していない。	データを表やグラフにしたり、補足を加えるなど、分かりやすくデータを提示している。	自身のRQを裏付けるために根拠あるデータを提示している。
	会話力	説明する力 ×2	聴衆を意識して話していない。(原稿を読んでいる)	聴衆を意識して話している。(原稿を見ていない)	身振り手振りやボイスコントロールなどを利用して聴衆に積極的に伝えている。	適宜間を取る・問いかけるなど、聴衆の理解を確認しながら伝えている。
		質問への対応力	質問に答えることができない。もしくは答えが曖昧である。	根拠ははっきりしないが、自分なりの考えで質問に答えている。	調べた根拠をはっきりと示しながら、質問に答えている。	

～メモ欄～